

1. 実習校について

○実習校名	○○中学校・高等学校
○教科	数学
○担任（学年）	高校1年
○部活	なし
○その他（校務分掌等）	なし

2. 実習の成果（できたこと、得たもの等）

授業は合計で25回行って、回数を重ねるごとに伝え方や、板書、生徒との接し方など様々な点で成長できたと感じています。はじめは、板書計画やホワイトボードばかり目が行ってしまい、生徒の様子を見る余裕がなかったため、生徒が理解できているかどうか分からず、不安になりながら授業を行っていました。しかし、だんだんと生徒の様子を見ながら授業を行うことができるようになり、より分かりやすい説明ができるようになり、自信をもって授業を行うことができるようになりました。研究授業では、普段の授業よりも緊張してしまい、できなかったこともありましたが、その緊張を乗り越えてからの授業はより楽しんで、生徒とコミュニケーションをとりながら行えるようになりました。また、研究授業後の先生方からのご指摘をいただくと、今まで自分では気づけなかったことを発見したり、逆に自分の授業のどこが良い点なのかを知れたりすることができました。

また、学級経営では、主に朝礼と終礼を行いました。はじめは緊張して必要最低限のことだけ伝えて終わることが多かったのですが、担当の先生のサポートもあり、「自分が高校時代にしておいてよかった、しておいたらよかったと思うこと」と話すことができました。30人もの前で話す経験は今までなかったので、とても緊張しましたが、生徒が自分の方を向いて真剣に話を聞いているのをみると、「あれも伝えたいな、これも伝えたら生徒のためになるかな」と考えることができるようになりました。最後の週では、LHRの時間に高校1年生の前で「自分がなぜ今の大学に進んだのか、高校生活でしておいたらよかったこと」を話す機会がありました。200人以上の前で話すのは、それまで以上に感じた緊張を超える緊張がありましたが、自分が感じていることを伝えようと頑張ったことで、それが生徒にも伝わったのか、生徒から進路の相談をされるようになり、3週間という短い間でも信頼関係を築けることができたと感じました。

また、実習期間中、生徒だけでなく、様々な先生と話す機会があり、尊敬できる先生にも多く出会うことができました。教師が大変な職業であることは、想像していた通りかそれ以上に感じましたが、それを超えるやりがいや楽しさを感じている先生が多く、教師という仕事がより魅力的に感じるようになりました。

3. 実習ででてきた課題（できなかったこと等）

授業では、はじめより、成長できた部分も多くありますが、いくつか課題も残ってしまいました。具体

的には、生徒に発問するときに、はっきりと何を答えたらいいのかが分かる問い方をすること、語尾まではっきりと話すこと、ホワイトボードに書く図をきれいにすること、単元や内容が切り替わるときにそこまで習ったまとめをして、切り替わることが生徒にも分かるようにすること等です。まだまだ改善しなければならない部分が多くあるので、教員になるまでも、なってからも、よりよい授業を作るために工夫と努力をしていきたいと思います。

生徒とのコミュニケーションについては、たくさん話しかけてくる生徒とは、会話も多く、関係作りができたのですが、話しかけられない生徒にこちらからもっと話しかけないと、全員と平等に関係を作るのは難しく感じました。実際、教師としてクラスを担当するときは、もっとコミュニケーションの取れる教師になりたいと思います。また、授業中に生徒同士で関係のない話をし続けている場合の注意の仕方でもまだ全然分かっていないと感じました。生徒との距離感も教育実習生としては多少友達のような関係でも許されていた部分があったと思いますが、実際に教師として働く場合は、教師と生徒という関係を作らないといけないので、気を付けたいと思います。

4. 実習を行った感想

教育実習では、今まで大学の座学では学ぶことのできなかった、教師という仕事とはどのような職業なのか、生徒との関わりの中かで大事にしないといけないことはなにかを身をもって体験し、学ぶことができました。そして、教師という仕事の魅力ややりがいを実感することができました。特に、教師という仕事のやりがいについては、教育実習の3週間という短い期間でも、自分が生徒の前で授業する、話すということを頑張って工夫してたくさん伝え方を考えた分だけ、生徒からも「授業分かりやすかった」と言って貰えたり、質問に来てくれるようになったり、進路の相談をしてくれるようになったりしました。このように、自分が努力したことに対して生徒からの反応が返ってきたことが本当に嬉しく感じて、もっと生徒のために頑張りたいと思うことができました。授業や生徒との関わりだけが教師の仕事ではないですし、教育実習で体験した何倍もしんどいことがあると思いますが、教師という職業に絶対に就きたいと思うことができました。

5. 今後に向けて

この教育実習で、自分に足りないところを多く見つけることができたので、その改善を教師になるまでもなってからも頑張りたいと思います。数学の勉強もまだまだ十分でないと思うので、時間のある大学生のうちに数学の教師として恥のないような学力は身に着けたいと思います。また、生徒と関わる上でまだコミュニケーション能力も足りないと思うので、大学生のうちに、沢山の人と関わったり、色々な経験をしたりすることによって、生徒と話すときの話題作りをしておきたいなと思います。